

「人権 ～誰もが生まれたときから～」

校長 根本愛子

毎年12月4日～10日が「人権週間」、10日が「人権デー」となっており、師走の12月は、人権月間として、全国的に様々な取り組みがなされています。人権は誰もが生まれたときからもっている大切な権利ですが、虐待、いじめ、インターネット上の人権侵害、障害等を理由とする偏見や差別等、様々な人権問題が依然として存在しています。これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、「誰か」の問題ではなく、自分の問題として捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。本校でも、教職員が人権感覚・人権意識を高め、日々の教育活動の中で人権教育ができるよう、年間を通して、17の人権課題について研修を行っています。

生徒も、人権を理解し、命を大切にするために、「大人と子どもの対話集会」「人権教室」「情報モラル教室」「命の大切さを学ぶ教室」「心と体の講演会」等、地域の皆様や専門家を招いての体験学習や講演会を通して人権について学んだ月間でした。今年も、特に、最大の人権侵害がいじめであるという考え方のもと、より自分事として考えるために、生徒会と生徒指導部が中心となって、生徒主体の「絆づくりフォーラム ～いじめについて考えよう」を12月9日に行いました。SNSを含む、身近な事例を示したロールプレイや関城中学校の実態を元に意見交換を行いました。許されるいじめなどないことなど、いじめの定義も改めて確認し合いました。私からも、目には見えない心の傷やいじめ防止対策推進法等の法的な話について等、いろいろな話をしました。生徒は「いじめをしない、させない、気付こう、知らせよう、そしてSOSを出そう」という意識を高めてくれたと思います。

さらに、我々大人が、子ども達の人権を守り、人権を大切にすモデルとなることも必要です。ご家庭でも、子どもの人権をはじめ、いろいろな人権について、お子様と一緒に考えてみていただくと幸いです。

2024年がもうすぐ終わります。保護者の皆様、地域の皆様には感謝の言葉しかありません。2025年もさらなるご支援・ご協力のほどをお願いいたします。

今月の関中ワード

○癒癒をおこしたら、

「かんしゃく」の「く」の字をとってみよう!

感謝の気持ちをもつと、相手の言葉が違って聞こえるのではないでしょうか